

みんなの議会

おおぎと

定例会



町花：つつじ

令和4年11月1日

No.208

♪ 一緒に・・・ ♪
歌でつながる喜びを
あ・な・た・に

(コールカッコー)

裏表紙に町花の挿し絵があります



P.2 令和3年度決算

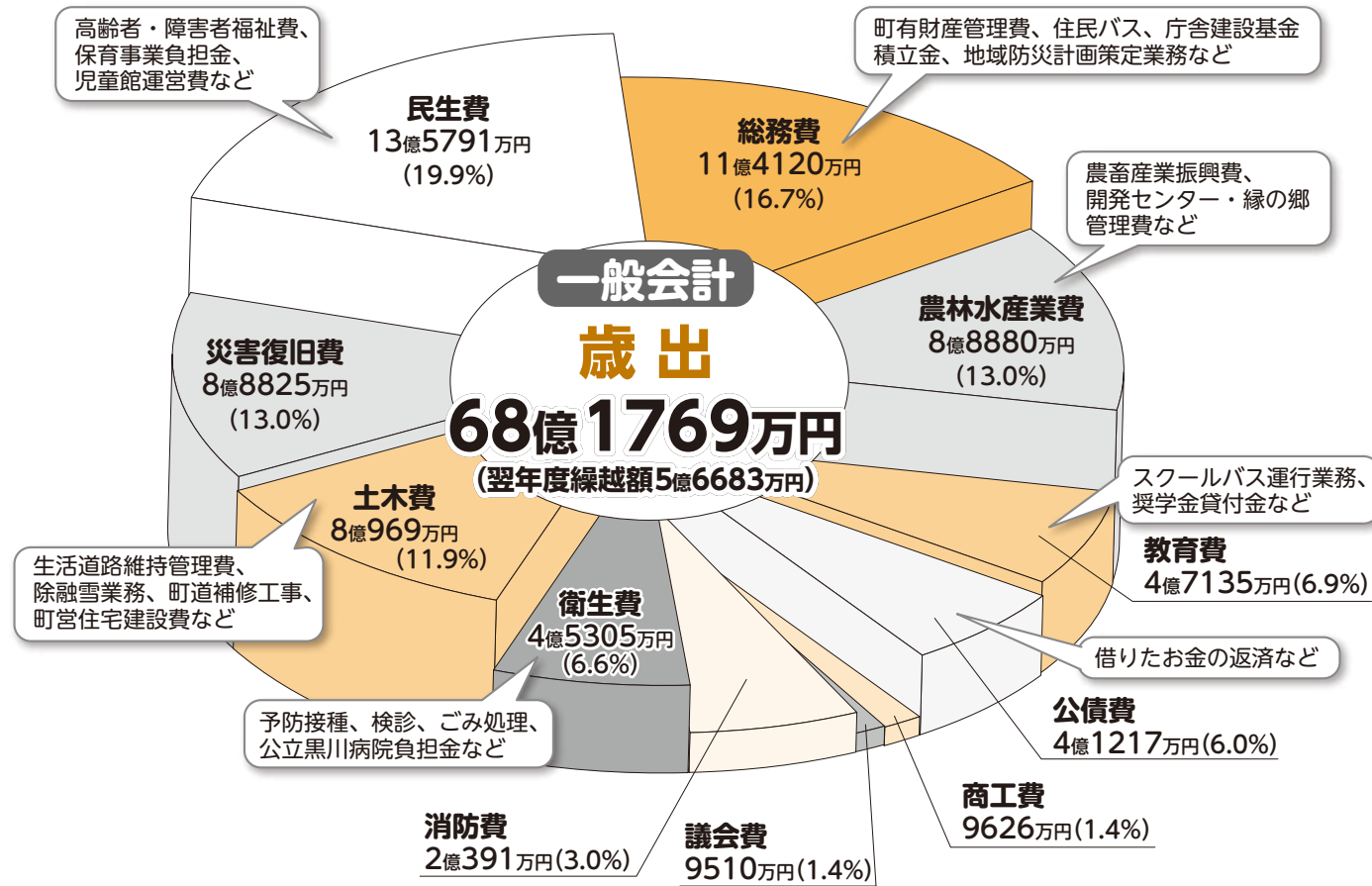
P.6 町へ意見・提言

P.15 一般質問

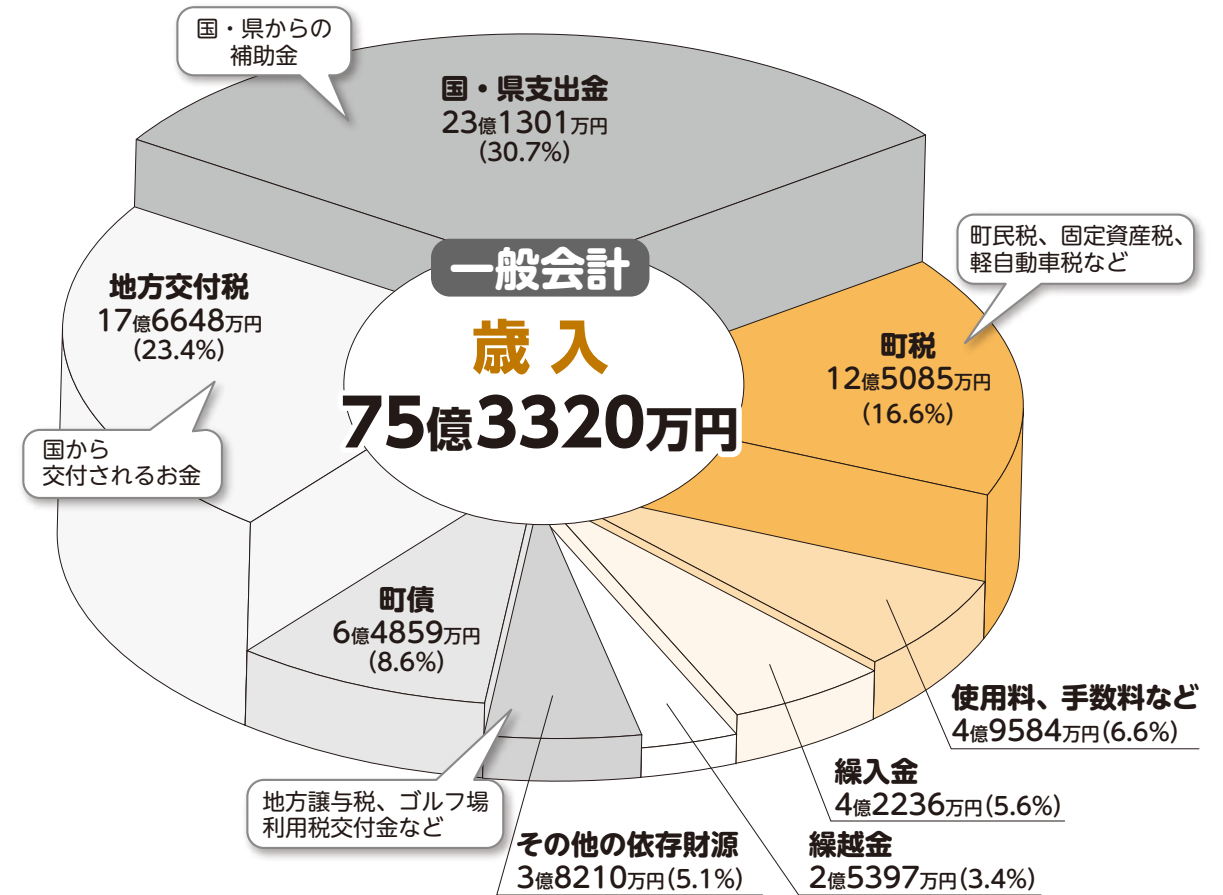
P.23 追跡レポート

新型コロナ対策、災害復旧・復興に

令和3年度一般会計の決算は、歳入は前年度より14億6679万円減、歳出は前年度より15億6834万円減となり、歳入歳出とも前年度を下回っている。また、歳入歳出差し引き額は7億1551万円であった。



※四捨五入しているため、合計が100パーセントではありません。



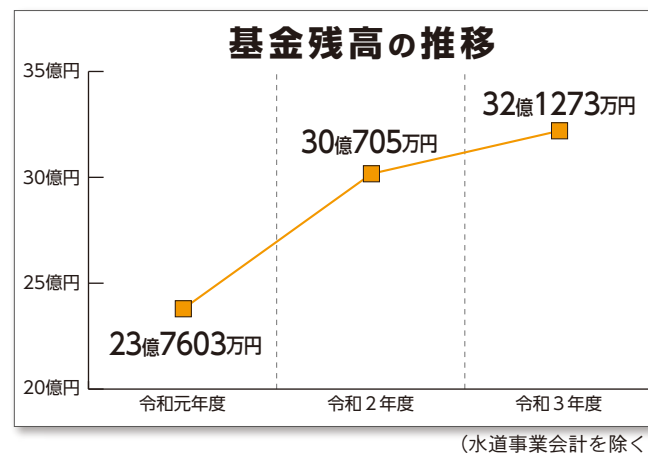
●各種会計歳出決算額●

会計別	令和3年度決算
一般会計	68億1769万円
特別会計	19億3165万円
水道	2億2238万円
合計	99億165万円

※1万円未満は四捨五入

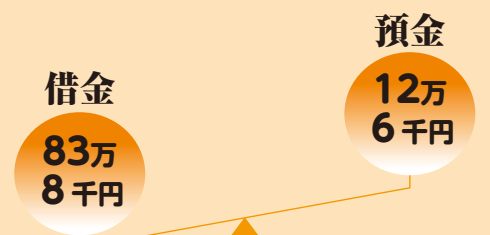
主な事業

- 災害復旧・復興関連経費 11億9461万円
- 新型コロナ対策経済支援（商品券など） 2億9069万円
- 新型コロナワクチン経費（接種費用など） 6406万円
- こども園、小・中学校バス運行経費 5924万円
- 小・中学校、保育園など給食費無償化補助金 3795万円
- すこやか子育て医療費助成 2673万円
- 強い農業・担い手づくり総合支援交付金（カントリーエレベーター建設など） 5億2367万円
- 郷郷ランド複合遊具設置など 4698万円



(水道事業会計を除く)

町民1人当たりの預金と借金



預金は財政調整基金、借金は町債としています。令和3年度末の人口で算出しています。

令和4年第3回定例会は、9月5日から21日までの17日間の会期で開かれた。令和3年度決算を審議し、一般会計、7つの特別会計および水道事業を含む、総額99億円の決算を認定した。（採決結果一覧表はP9、P14に掲載）

一般会計・特別会計・水道事業会計決算を

徹底検証



吉田 耕大 副委員長



和賀 直義 委員長

令和3年度の決算を審査するため、特別委員会を設置し、6日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。本会議では委員会審査報告の後、一般会計および各種会計を認定しました。

決算審査

決算審査

安全・安心な生活環境を

※1 防災住環境支援補助金

問 対象となる浸水想定区域の方々に周知が必要では。
答 防災対策室と連携し、広報などで周知していく。

※1 町内浸水想定区域に在住で、かさ上げ・擁壁工事を行う方を支援する補助金。

交通安全施設

問 町内各所の交差点などで交通標識がないことが多い。安全管理のためにラインを引くべきでは。
答 停止線は公安委員会との協議が必要なので検討し、設置していきたい。



▲子どもたちの安全を

水防訓練

問 コロナ対策をした上で訓練をやるべきでは。
答 消防団と話し、検討していく。

ドローン活用

問 最新の防災用ドローンを取り入れて進めていく必要があるのでは。
答 社会的に認められているものを中心に導入を考えていきたい。



▲防災・減災に役立てよう

危険ブロック塀

問 事故が起きる前に撤去する方向でやっていただきたいが。
答 県と相談しながら周知の徹底に努めていきたい。

生活の利便性向上を

住民バス

問 子どもたちの意見は反映されなかったのか。
答 アンケートにあった土日運行希望については経費面の検証を行い、不採用となった。



▲祝120万人達成（令和3年3月2日）

鳥獣被害対策

問 被害が増える可能性がある。檻を増やして設置する考えは。
答 数を減らせる形で、イノシシの檻の設置場所は増やしているところである。



▲急増するイノシシ対策を

道の駅

問 外トイレの改修はいつ終わる予定か。
答 8月末までの工期だったが、物品納入の遅れなどにより12月末までとなった。



▲1日でも早い工事完成を

開発センター

問 西側駐車場使用料は、なぜ町に入っていないのか。
答 指定管理なので、(株)おさと地域振興公社に入る。

中央公民館

問 図書室の案内板が必要では。
答 入り口に公民館図書室の案内を設置したい。

歩道整備

問 障がいを持っている方々の意見を参考にしながら安全な歩道の確保を。
答 障がい者や車いすなども通行できるよう対策に努めてまいります。

マイナンバーカード

問 普及促進についてどのようなことを考えているか。
答 広報などでPRして周知している。町民課と総務課が連携し普及に努めていく。

通園バス

問 閉じ込め事故防止の対策は。
答 乗降確認や担任による出欠確認など、複数のチェックをし毎日欠席の児童を確認している。

ふるさと応援寄附金

問 減少の内容分析は。
答 新しい返礼品も出したが、コロナの影響などにより伸び悩んでいる。

※2 大学生等学業継続支援

問 町内の大学生など全員に給付されたのか。
答 広報などに2カ月ごと掲載し、防災無線などでも周知している。

※2 新型コロナによる経済的影響により収入が減少した、町内に住所登録している大学生などに対する交付金。

町当局へ18項目の意見を提言

決算審査

決算審査

改善 職員採用に注力

専門職員・技術職員の採用に注力されたい。

充実 返礼品の充実

ふるさと納税の返礼品の充実を図られたい。

強化 鳥獣被害防止

有害鳥獣の被害防止強化を図られたい。

改善 道路の環境整備

道路環境整備に努められたい。

強化 交通安全・防犯対策

関係機関と連携を図り交通安全・防犯対策に取り組まれたい。

強化 防災訓練で災害対策

防災訓練などの強化を図り、防災対策に努められたい。

強化 徴収対策の強化

不納欠損に至らないよう、徴収対策に努められたい。

改善 農園の管理体制

ふれあい農園（株ラトリエ）の管理体制を再検討されたい。

問 農園が荒れている状況だが、今後も管理できるのか。
答 しっかり指導していきたい。



▲管理体制の強化を

推進 早急に浚渫工事

河川の浚渫工事を早急に進められたい。

問 浚渫工事の今後の予定は。
答 4年度安戸川を実施。味明川の浚渫測量設計をする予定。味明川は、5年度工事予定。



▲令和5年度工事予定（味明川）

改善 公社の経営改善

（株）おおさと地域振興公社の経営改善を指導されたい。



▲さらなる集客を（物産館）

解消 返納金の早期解消

（株）おおさと地域振興公社の返納金について、早期解消に努められたい。

問 （株）おおさと地域振興公社過年度返還金の早期回収を。
答 毎年度返済を求めているが、7500万円残っている。

推進 無形文化財の伝承

無形文化財の後継者確保を町全体として、考えられたい。

問 後継者確保に、スピード感を持って真剣に取り組んでほしい。
答 そのように取り組んでいきたい。



▲後継者の確保を

推進 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の受け入れ体制を強化し、地域の活性化を図られたい。

問 もっと定住化を図る取り組みがあってもよいと思うが、町の企画としての位置づけは。
答 町の良いところをPRして移住、定住につなげていただきたい。

推進 受診率の向上

引き続き、受診率向上を図られたい。

問 コロナ禍にあっても受診率が向上した。引き続き努力されたい。
答 どのような方法があるか検討し、受診率向上に努めていく。

介護予防の対策

介護保険特別会計

早期発見・治療も含め、介護予防対策に努められたい。



下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計 戸別合併処理浄化槽特別会計

加入促進を図り、水洗率向上に努められたい。



討論

一般会計

反対 大友 三男議員

代案が反映されていない
令和2年度決算審査特別委員会において、代案をもつて意見・提案したことは重要である。
令和3年度一般会計予算に反映されないまま予算が執行された、3年度決算認定に反対する。

賛成 高橋 重信議員

財務主要指標数値が改善
令和元年東日本台風復旧事業や新型コロナウイルス対策事業が大きく影響した決算となった。財務主要指標において、実質収支比率、実質公債費比率の数値は前年度より改善していることから、賛成する。

賛成 吉田 耕大議員

災害対策は町内全域
台風災害の復旧事業は地域の意見を尊重し計画が進んでいる。浸水想定区域には擁壁・かさ上げ工事などの補助もあり、町内全域で災害対策に取り組んでいる。今後も災害対策強化と住民サービス向上を願い賛成する。

賛成 田中みつ子議員

財政難の中、努力を評価
一年を通して役場職員の懸命な努力を高く評価し、令和3年度決算に賛成する。

監査委員の意見（要約）

限りある財源を有効活用し、積極的な事業推進を

一般会計

生産年齢人口の減少に伴う税収減、高齢化に伴う扶助費の増など、依然として財政を取り巻く環境は厳しい。施策推進に欠かせない自主財源が安定的にできる自立的で健全な財政構造の確立が必要だ。限りある財源を最大限に有効活用し、積極的な事業推進を図られたい。

宅地分譲事業特別会計

高崎団地20区画が完売。中村地区と中粕川地区宅地造成事業が被災者支援と定住促進に機能するよう早期完工に努められたい。

水道事業会計

有収率が5・47%上昇した。石綿セメント管更新を含む建設改良事業の推進により、水道管の長寿命化を図られたい。

改善要望

1. 職員のワークライフバランスの確立と適正な人員配置を図られたい。
2. 運用中のシステムは※ベンダーロックインの状況にないか検討課題として取り組まれたい。
3. 債権管理条例を遵守し更なる収納成果の向上を図られたい。不納欠損処分は実情調査や財産調査を徹底されたい。
4. ㈱おおさと地域振興公社の過年度返納金は、早期解消に努められたい。
5. 災害時の避難所開設などについて適切な配置を図られたい。
6. 新公会計導入に向けた備品台帳などの整備や、町道などの未登記物件の登記業務をさらに推進する必要がある。
7. 契約などが複数の課に関係する場合は、連携を密にし、慎重な事務処理を図られたい。
8. 組織としてのチェック体制を見直し厳格な内部統制のもと、町民の信頼を失う事案が発生しないような取り組みと、職員に対する周知文書の徹底をされたい。

下水道事業、農業集落排水事業、戸別合併処理浄化槽特別会計
利用者負担を抑制しつつ、公共水域の水質保全

※特定のベンダー（メーカー）独自のシステムなどを採用した際、他への乗り換えが困難になる現象のこと。

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	吉田 耕大	佐藤 牧	赤間 茂幸	大友 三男	佐藤 千加雄	田中 みつ子	熱海 文義	石川 寿和	和賀 直義	高橋 重信	石垣 正博	千葉 勇治	若生 寛	石川 良彦
決算認定	一般会計	68億1769万円	認定	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険	9億3165万円	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険	10億5685万円	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療	8397万円	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業	2億5388万円	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業	5318万円	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽	6799万円	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業	3億1600万円	認定	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	-
水道事業	①収益的支出：2億2238万円 ②資本的支出：9804万円	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	

○：賛成 ●：反対 継続：継続審査 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

人事案件

教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、教育委員会委員に武藤光広氏を推薦することに全会一致で同意しました。

（任期：令和4年10月1日から4年間）



武藤 光広 氏 (上郷)

人権擁護委員の推薦

熊谷 智子 氏 (山崎)
任期：3年間

次回定例会

予定 12月1日(木)から
午前10時～
12月6日(火)まで

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。



生活環境整備に増額

3億1341万円増額 75億552万円に

一般会計と4特別会計および水道事業会計の※補正予算が提出され、原案どおり可決しました。

※補正予算は、年度途中における災害の発生などに対応するため、当初予算に増額・減額する予算です。

めだま



今回の主な

1945万円
新型コロナウイルス
ワクチン接種等関連費



新型コロナウイルスワクチン、12歳以上の4回目接種・事務費など。

6211万円
町道等除融雪業務



問 去年より1千万円ほど増額となっているが。

答 単価構成の見直しにより増額。

1052万円
大窪城址公園
樹木伐採業務



問 伐採業務の内容は。

答 頂上の桜の木が枯れている。地域の要望もあり、安全確保のため40本伐採。

596万円
緑の郷施設管理費
(設計業務)



問 設計業務の内容は。

答 地震や施設の経年劣化により、資料館・研修棟・交流ホールなどの修繕。

699万円
保健センター
トイレ改修工事



問 トイレ改修の内容は。

答 男子トイレ3カ所を2カ所に、女子トイレ4カ所を3カ所にし、すべて洋式にする。小便器5カ所は、自動センサー取り付け。

9497万円
町道補修工事・
改良舗装工事



問 金額が多額だが内容は。

答 交通安全施設・中村大壇原線側溝修繕・吉ヶ沢屋敷線道路改良舗装工事など。

11月実施 オミクロン株対応ワクチン 集団接種事業に2316万円

集団接種会場運営負担金および新型コロナウイルス感染症陽性者などで、生活用品購入困難世帯への生活用品支援に使用する。

その他の質疑

多面的機能活動組織交付金 (1305万円)

問 本来、当初予算に出る交付金だと思うが、内容は。

答 当初予算とは別に、施設の長寿命化（水路補修・更新、農道の保守）の要望があったため。

教職員ICT研修業務・

支援業務 (49万円)

問 教職員のICT指導能力は、指導能力は上がっている。

かわまちづくり協議会補助 (90万円)

問 協議会の開催頻度は。

答 立ち上げはこれからで、説明会・分科会などで14回を予定。

回転場所整備工事 (300万円)

問 工事の場所と内容は。

答 大栗団地（中村字屋敷前）内の土地購入（203㎡）。町民の安全を第一に考え、救急車などの回転場所とするため。

カントリーエレベーター

利用促進補助金 (200万円)

問 いつまで補助するのか。

答 3年間。大郷町の農家の方の数量1kg当たり1円の補助。

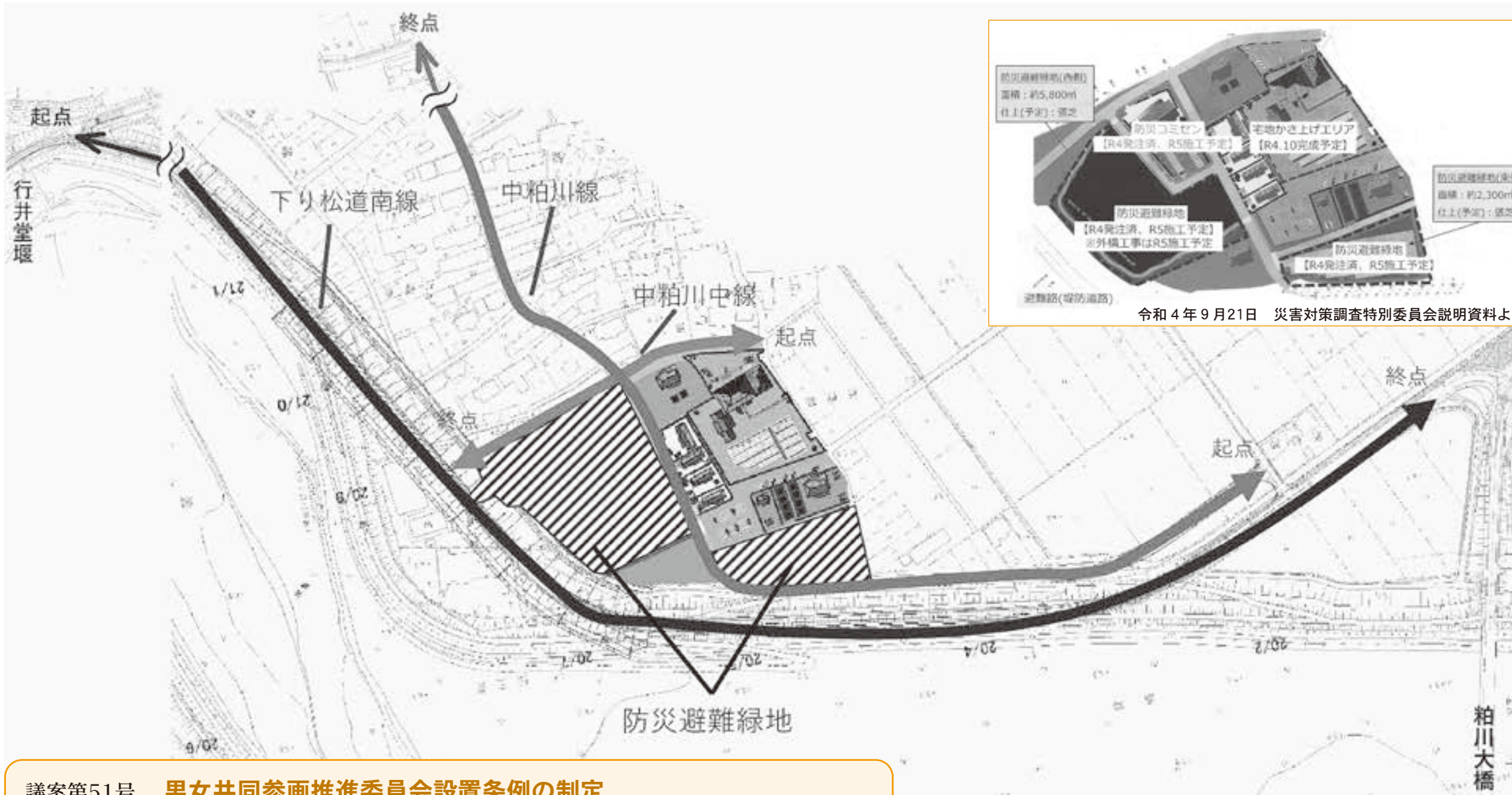
歴史民俗資料館準備委員会 (5万円)

問 旧櫻井邸を活用する構想は。

答 物品の選定などの準備を、どのような形で資料館を設立していくか検討していきたい。

中粕川防災避難緑地造成工事（第1期）道路線変更など

9月定例会
一般議案



令和4年9月21日 災害対策調査特別委員会説明資料より

定例会

【議案第63号】工事請負契約の締結（中粕川防災避難緑地）
 契約方 城北興業（株） 仙台支店
 契約金 2億130万円
 工期 令和5年3月31日

【議案第54号】道路線の認定（粕川地区）
 下り松道南線
 石原字下り松30番7地先から粕川字道南280番地先まで
 中粕川中線
 粕川字東9番1地先から粕川字伝三郎14番3地先まで

【議案第55号】道路線の変更（中粕川地区）
 変更前 粕川字道南280番地先から粕川字新榎町6番3地先まで
 変更後 粕川字道南286番1地先から粕川字新榎町6番3地先まで

定例会

議案第51号 **男女共同参画推進委員会設置条例の制定**
 男女共同参画社会の実現のための施策を総合的かつ効果的に推進するために必要となる調査審議を行う大郷町男女共同参画推進委員会を設置することを目的とし制定するもの。

議案第52号 **職員の育児休業等に関する条例の一部改正**
 ①育児休業の取得回数制限の緩和など
 ②非常勤職員の子の出生後8週間以内の育児休業の取得条件の緩和
 ③非常勤職員の子が1歳以降の育児休業の取得の柔軟化

議案第53号 **特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正**
 男女共同参画推進委員会の委員への報酬について追加するもの。

	委員長	副委員長
報酬	6,300円	6,100円

議案第64号 **和解及び損害賠償の額の決定**
 粕川道南地内において、大型自動二輪車が路面の段差で転倒。休業損害および車両損害113万2050円のうち、町が5割の56万6025円を賠償。

議案第56号 **過疎地域持続的発展計画の策定**
 過疎債を活用するため国に対する計画書の策定

1. 基本的事項	8. 医療の確保
2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	9. 教育の振興
3. 産業の振興	10. 集落の整備
4. 地域における情報化	11. 地域文化の振興など
5. 交通施設の整備、交通手段の確保	12. 再生可能エネルギーの利用促進
6. 生活環境の整備	13. その他地域の持続的発展に関し必要な事項
7. 子育て環境の確保、高齢者などの保健および福祉の向上および増進	



いしがき まさひろ 議員
石垣 正博

長期的視野に立った水道事業を

県水道広域化推進プラン策定予定(町長)

問 水道事業、どこまで持続可能と判断し運営を続けるのか。老朽化対策が重要では。

答 町長 今後、大規模な更新時期を迎えることになる。延命化を図り、事業費の縮減に努め、石綿セメント管更新事業を優先的に行う。

問 現在の経営状況を前提とした計画では、現在のようないくつかの町民サービスがなくなる。他の水道事業体との統合・広域化を考えるべきでは。

答 町長 令和4年度中には、宮城県水道広域化推進プランが策定予定。令和6年度に水道基盤強化計画として取りまとめられる。広域化に向け、前進するもの

問 防災・減災国土強靱化5カ年加速化対策で、災害に対する強化を図るためというが、進んでいるのか。

答 地域整備課長 石綿セメント管を中心に、災害に備えて進んでいる。

問 各都道府県の水道事業体において、協議会などを立ち上げ、広域化について議論をしている。会議がある都度、県などに対し訴えていくべきでは。

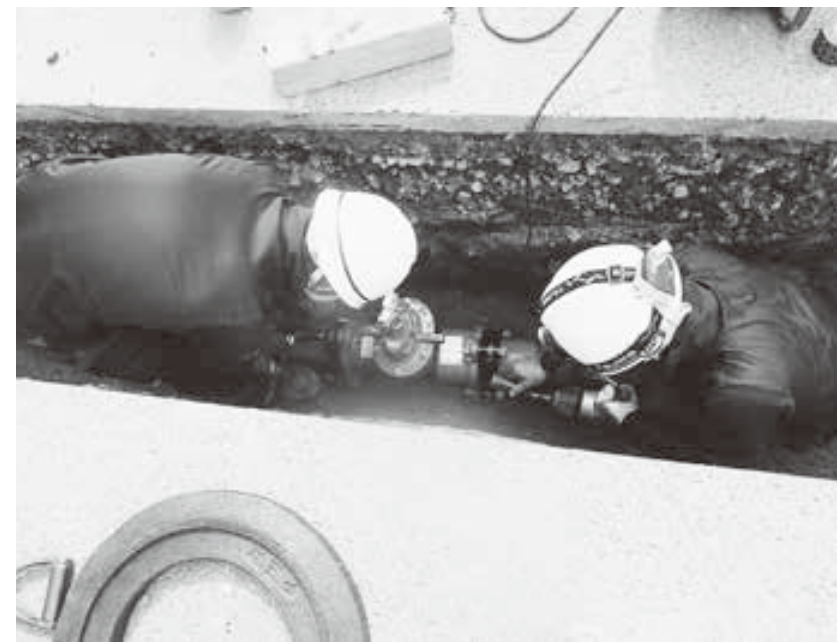
答 町長 事業を推進していくには、財政支援が欠かせない。県が中心となり、弱い自治体に対し応分の配分をすることを、我々町村会で申している。目的が達成できるよう努力する。

問 広域化にするとなれば、各市町村の事業は足並みをそろえることが必要である。水道施設の台帳整備、どのように進めているのか。

答 地域整備課長 今、業者に委託している。

問 水道台帳整備は、水道施行令で令和4年9月30日までとあるが、間に合うのか。

答 地域整備課長 9月中



▲老朽化で更新する水道管

には、成果が上がってくる。

鉛製水道管の調査を

問 以前、鉛管について質問したが、調査の結果は。

答 地域整備課長 鉛管はない。

問 利府町では「水道ビジョン」を策定し、鉛製の水道管が

道管が図面に載っているが、本町では調べているのか。

答 地域整備課長 給水装置については、個人所有であり確認はしていない。

問 調査する必要があるのでは。

答 地域整備課長 給水台帳で確認する。

議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	吉田耕大	佐藤牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生寛	石川良彦	
報告	健全化判断比率について 資金不足比率について	報告のみ															
諮問	人権擁護委員 (熊谷 智子 氏)	適任	無記名投票														
同意	教育委員会委員 (武藤 光広 氏)	同意	無記名投票														
議案	男女共同参画推進委員会設置条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	-	
	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	-	
	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	-	
	道路線の認定について	可	○	○	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	-	
	道路線の変更について	可	○	○	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	-	
	過疎地域持続的発展計画の策定について	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	-	
	工事請負契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●	欠	
補正予算	和解及び損害賠償の額の決定について	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	
	一般会計(第6号)	75億552万円(3億1341万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	-	
	一般会計(第7号)	75億2924万円(2372万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	-	
	特別会計	国民健康保険(第2号)	9億1060万円(145万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	欠	
	介護保険(第1号)	11億686万円(402万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	欠	
	後期高齢者医療(第1号)	9366万円(102万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	欠	
	下水道事業(第1号)	2億2550万円(184万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	欠	
水道事業会計(第1号)	①収益的支出:2億4415万円(1509万円↑) ②資本的支出:1億5135万円(1342万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	欠	-	

(↑)は増額、(↓)は減額
可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

定例会一般議案

ただ 5名が町政を質す!



質問議員	質問件名	掲載ページ
いしがき まさひろ 議員 石垣 正博	1. 長期的視野に立った水道事業の運営を	P.15
おおとも みつお 議員 大友 三男	1. 防災対策について 2. 住民バス運行について	P.16
わが なおよし 議員 和賀 直義	1. 7月豪雨の災害について 2. コロナ対応について	P.17
ちば ゆうじ 議員 千葉 勇治	1. 災害に強いまちづくりについて 2. 令和3年度における公共事業予算総額と入札結果生じた請差金額の活用について 3. 交通安全対策について	P.18
よしだ やすひろ 議員 吉田 耕大	1. ヤングケアラーの実態調査など対策を 2. 縁の郷指定管理者、(株)ラトリエの事業計画と新たな取り組みを	P.19



議員 直義 和賀

7月豪雨災害の早期復旧を！

令和5年度末までに全箇所復旧(町長)

問 現状への復旧だけでは同じ被害が予想される。どのような復旧を目指すのか、また復旧時期の見通しについて伺う。

答 町長 災害復旧は原形復旧が原則だが、町単独事業ではコンクリートを混ぜて法面の強度を強くするなど、対策を講じている。復旧時期は河川などの工事もあり、令和5年度末までには全箇所復旧する。

問 生活道路で使用している赤道が豪雨のたびに砂利が流出し大変苦労している。簡易舗装ができないか。

答 地域整備課長 下流の町道などに採石が流れる場合には舗装も考え、また乳剤をまいて一時的に固める対策も検討する。

問 農地・農業用施設の災害復旧費の国費・町費、受益者負担金、申請などの周知はどのように実施するのか。

答 町長 農地の災害復旧については、個人からの申請とされているので、8月26日付けの文書で全戸配布を行っている。

問 けやき坂住宅の方は道路冠水のため、大変な状況だった。今後の豪雨などの対応・対策の検討状況は。

答 町長 県道の早急なかさ上げを要望している。開発事業者が団地南側に隣接する高台に土地を所有しており、災害時の使用について承諾を得ている。町道側への抜け道の整備についても要請している。



▲道路・農地へ土砂崩れ多発



中粕川以外の防災対策は

国や県と共に対策を講じる(町長)

問 東日本台風以後、中粕川の一部の浸水被害対策を講じている一方、今回の大雨により町内各所で同じ方々の家がまた浸水被害に遭った。その中の石原地区では東日本台風被害から3年もたないうちに、2回目となる浸水被害に遭ったことは、同じ大郷町民でありながら、地域によって町の防災対策の遅れにより、格差が生じていると思うが、早急な対策が必要では。

答 町長 国や県と共に対策を講じる。各地区の人たちを投げやりに行っているわけではない。どういう方法で講じるか、町でできるものについて対応する。

答 地域整備課長 石原地区について、早急に対応したいと考えている。

問 今回も各所で道路が冠



▲7月の大雨により、激流と化した石原分館前

水し、孤立する地区があった。孤立する前に避難させる必要があったのでは。

答 町長 短時間の記録的な豪雨により道路が冠水し、夜間の移動は危険と判断し、垂直避難を呼びかけた。

問 幾度となく繰り返してきた水害の経験を活かし、本町独自の災害リスクマップを策定して、町民に示すべきでは。

答 町長 浸水頻度ごとの浸水箇所を示した、水害リスクマップの策定計画がある。

住民バスの現状は

問 令和3年5月の住民バスアンケート調査の中で、土日祝日運行・運行時間・運行コースについて、10代や親の意見をどのように反映させるのか。

答 町長 土日運行の意見があったが、政策審議会の審議の結果、不採用となった。

問 アンケートの中で、希望する高校に行くための、運行コースがないため、行きたい高校に行けないという

意見を重要視し、運行に反映させるべきでは。

答 まちづくり政策課長 費用について検討が必要であり、結論的に見送りになった。

問 アンケートの中で、運転技術が乏しく乱暴、スピードの出しすぎで恐怖を感じるなどの苦情の意見があり、行政として放置していいのか。

答 まちづくり政策課長 安心して乗っていただけよう、今後も強い指導を行う。

一般質問

一般質問



よし だ ひろ 吉田 耕大 議員

ヤングケアラーの認識を

認知度向上に努めていく(町長)

問 ヤングケアラーの実態調査は行っているのか。
答 町長 行っていないが、小・中学校において、児童生徒の心のアンケート調査を実施している。
問 早期発見のために、実態調査を早急に行うべきではないか。
答 町長 町民課長 早めに実態調査をして、対応していきたい。
問 いろいろな課題はあるが、課題解決のための取り組みは。
答 町長 ヤングケアラーに関する啓発を行い、社会的認知度を高めるとともに、関係機関が情報共有・連携して早期発見し、子どもの意思に沿いながら、適切な支援につなげていく。

問 ヤングケアラーに対する認識を促すための普及啓発の対策は。
答 町長 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置により、学校内での認知度が上がっている。関係各課が連携しチラシの配布や広報掲載など認知度向上に努めていく。
問 ヤングケアラーに対する認識を促すための普及啓発の対策は。
答 町長 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置により、学校内での認知度が上がっている。関係各課が連携しチラシの配布や広報掲載など認知度向上に努めていく。
問 令和3年度は(株)ラトリエ(緑の郷指定管理者)の収支計画通りに進んだのか。
答 町長 コロナ禍の影響が大きかったため、当初計画数値は未達成の状況であった。
問 令和4年度は問題なく進んでいるか。
答 町長 レストランのメニュー開発や宿泊予約サイトでのプラン作成などの効果で、リピーターも多くなってきたこともあり、現段階では収支改善が見込まれる状況である。
問 キャンプなどの提案はできないのか。
答 町長 キャンプや星空

山林開発で一旦水被害が拡大？

異常な降雨量が起因(町長)

問 東日本大震災後の山林開発による山砂採取が進んだ結果、降雨による一旦水被害が加速度的に増していると考えますが、町の考えは。
答 町長 当然影響はあるものと考えている。また、昨今の災害は異常な降雨量に起因することが多いと考えられる。なお、豪雨などが原因で災害が発生した際には、山林開発事業者の責任で対処する旨の協定を交わしている。
問 東日本大震災後町内の約100haの山林が土取場などの目的で開発されている。このことにより生じる災害について開発面積割などである程度費用(川底の浚渫費用など)の負担を求めめることはできないのか。
答 町長 まちづくり政策課長 流された土砂が本当にその



ちば ゆうじ 千葉 勇治 議員

開発地から出たのか、完全に立証されない以上負担を求めるとは難しい。
問 それでは協定を交わしていないものに等しいのではないのか。
答 町長 まちづくり政策課長 事業所から間違いなく土砂流出などが生じた場合、当然の義務・責務として対応する旨協定を地区と結んでおり、対象事業所に改善を求めている。
問 今回の豪雨災害の教訓を今後の防災対策にどのように生かしていく考えか。
答 町長 過去の常識が通用しない自然災害については、これまで以上の備えと、避難を含めた早め早めの対応を取る必要がある。また河川管理者に対し引き続き治水対策要求を行っていく。

一般質問

一般質問

「縁の郷」の新たな取り組みを

問 町内外へのPR・町の発展・地域貢献のための今後の事業計画は。
答 町長 ホームページのリニューアルや観光予約サイトの活用など様々なツールを活用し、PRしてきた。また、明成高校やベガルタ仙台、地元の農業法人や企業とのコラボ事業など実施している。引き続き、農業と観光を軸に、町の魅力を町内外に発信し、交流人口の拡大及び若年層の就業や起業につなげられるよう努めていく。

交通安全対策を

問 一時停止の標識のない町道が多く、優先道路を勘違いしてしまう利用者も多い。規制標識を整備するなど交通事故防止に急いで取り組んでほしい。
答 総務課長 町内には多数の交差点があり、今後調査し必要な箇所について公安委員会に要望していく。
答 地域整備課長 対応できるものについては速やかに対応していく。



▲裸山のままの林地開発地

？ ヤングケアラーって？

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話を日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

▲ヤングケアラーはこんな子どもたち(厚生労働省参照図)

粕川地区 かさ上げ安全確保事業完成

10月7日、令和元年東日本台風で被災した中粕川地区で完成式が行われました。



▲待ちに待った宅地かさ上げ



8月26日、田中町長と石川議長が宮城県知事に「令和4年7月15日からの大雨に係る災害対策に関する要望書」を提出しました。

知事への要望活動

被災者の支援や、河川の越流対策、県道の冠水対策などを要望したものです。

災害対策調査特別委員会

8/4 第32回 7月15、16日の大雨に伴う災害のその後の報告

9/21 第33回 中粕川復興まちづくり事業の経過など

おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会

8/24 第7回 令和3年度決算報告意見交換

決算書上に仮受金（7500万円）が、長年にわたり計上されている。本来仮受金は、一時的（短期）に金額を預かる勘定科目であり、最終的には決算日までに処理すべき科目である。

議会の主な動き (7/1~9/30)

月日	用務	月日	用務
7/1	建町記念式典 総務産業常任委員会	8/23	議員全員協議会・議会運営委員会
7/5	広報広聴常任委員会	8/24	第5回臨時会 おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会
7/13	広報広聴常任委員会	8/26	県知事へ要望書の提出(仙台市)
7/14	宮城県町村議会議長会議議員講座(仙台市) 議員全員協議会	8/29	議会運営委員会
7/15	北方領土返還要求県民フォーラム・宮城県民会議総会	9/5~9/21	第3回定例会
7/19	第4回臨時会・議員全員協議会	9/6	広報広聴常任委員会
7/20	仙台北部道路建設促進期成同盟会総会	9/7	議員全員協議会・議会運営委員会
7/22	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議(仙台市)	9/16	議員全員協議会・議会運営委員会 広報広聴常任委員会
7/26	議員全員協議会	9/21	災害対策調査特別委員会 秋の交通安全総ぐるみ運動
8/4	教育民生常任委員会・災害対策調査特別委員会	9/26	広報広聴常任委員会
8/8	総務産業常任委員会	9/27~9/28	広報広聴常任委員会視察研修(岩泉町・紫波町)
8/22	宮城県町村議会議員セミナー[大和町]		

第4回 臨時会

7月19日

生活応援商品券

1人当たり5000円

次年度への繰越計算書訂正の報告が1件、工事契約の締結、生活応援商品券の配布、畜産特別対策支援交付金など、6688万5000円を追加し、総額57億2948万6000円とする補正予算を原案どおり可決した。



▲畜産業への継続支援を

【議案第48号】
小・中学校外壁等修繕工事
契約方 新日本商事株式会社
契約金 2億3265万円
工期 令和5年3月24日
問 小・中学校一括発注の理由は、経費、一元的に現場管理などができるため。
答 一般会計補正予算(第4号)生活応援商品券：町内全世帯を対象に、原油高騰に伴う燃料費や消費活動の支援など、地域経済の活性化を図るための支援。
畜産特別対策支援交付金：飼料高騰対策として1頭当たり肥育牛1万円、繁殖牛5000円、乳牛8000円、子牛3000円の支援。

第5回 臨時会

8月24日

災害復旧に増額補正予算



▲粕川後谷地付近

【報告第13号】
一般会計補正予算(第3号)
7月15・16日の豪雨により被災した町道などの応急工事費として1億2274万4000円を増額し、総額を56億6260万1000円とした。
【議案第50号】
一般会計補正予算(第5号)
3月の福島県沖地震、7月の豪雨被害の復旧工事費、災害援護資金など、14億6262万6000円を追加する補正予算を原案どおり可決した。
問 今回の豪雨災害は国の激甚災害に指定されるのか。
答 土地改良事業に特化し、指定を受けた。

議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	議員名															
			吉田耕大	佐藤牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生寛	石川良彦		
第4回臨時会	報告第12号	繰越明許費繰越計算書の訂正について	報告のみ															
	議案第48号	工事請負契約の締結について	可	遅	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-
	議案第49号	一般会計補正予算(第4号) 57億2949万円(6689万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	-
第5回臨時会	報告第13号	専決処分の報告について (一般会計補正予算(第3号))	報告のみ															
	議案第50号	一般会計補正予算(第5号) 71億9211万円(14億6263万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額
可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 遅：遅席 欠：欠席 遅：遅刻
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

自然保護条例などの制定を

これまでの意見・提言など

- ・平成29年12月定例会追跡レポートより
- ・令和3年9月定例会追跡レポートより

まちづくり政策課

土砂採取事業者に対する災害防除および大雨などにおける現地確認の徹底と災害発生時の対応については、引き続き強く指導してまいります。

規制の強化や自然保護のあり方については、要綱改正や条例化など、各方面の意見を参考に検討してまいります。

(議会広報204号追跡レポートより)

その後の対応と今後の計画

土砂採取事業者に対しては、引き続き、台風や大雨の予報発令時から、場内の安全確保と災害発生時の対応について、強く指導してまいります。

また、規制強化や自然保護のあり方についても、要綱改正や条例化などもふまえて、県内外の他市町村の事例を参考に検討を進めてまいります。 まちづくり政策課長



▲規制強化が求められる土取場

交通安全対策を

これまでの意見・提言など

- ・道路の環境整備を徹底し、事故防止に努められたい。
(令和3年9月定例会決算審査意見書より)
- ・町道の区画線や一時停止線手前の止まれる表示が消えており、安全走行に支障をきたす恐れがある。優先順位を定め、早急に解消に努められたい。
(令和3年12月定例会総務産業常任委員会報告書より)

町、大和警察署、宮城県土木事務所と合同で巡視を実施した上で、交通安全啓蒙看板の更新など、どのような対策が効果的か協議し、順次対応してまいります。

また、区画線などについては、道路の交通事情を鑑み、地元の意見などを聞きながら、危険箇所を把握し、区画線やデリネーターなどで視認性の確保に努めるとともに、経年劣化により見えにくくなった停止線などの再設置により、事故防止に努めてまいります。 総務課



▲消えた停止線

教育民生 8/4 常任委員会

介護予防事業の充実を！



▲体力づくりは継続が大切

【調査の概要】

要介護（支援）認定者数の推移、健康寿命対策事業、地域包括支援センターの取り組み状況、障害者福祉の現状について、社会福祉協議会、保健福祉課より説明を受け調査した。

【意見】

1. 令和2年より新型コロナ感染拡大防止のため、健康づくりの取り組みがやむなく縮小された。感染防止策を周知・徹底するとともに、工夫しながら健康づくりに取り組まされたい。
2. 要介護（支援）認定者数が増加し保険者の20%が認定を受けている。不健康期間をすこしでも短くするため、介護予防事業を適切に実施していくよう努められたい。
3. 親などの送迎が必要な障害のある家庭を調査し、通学等の支援の実施検討すべきである。

次回は

「教育環境」
を調査します。

総務産業 常任委員会

地域再生と過疎対策を



▲新庁舎建設に向けて

【調査の概要】

令和4年7月1日（金）地域再生計画について、8月8日（月）過疎債についてまちづくり政策課より説明を受け調査した。

【意見】

地域再生計画について

1. 地域再生計画は、各種事業担当課任せではなく、プロジェクトチームを立ち上げ取り組むべきである。
2. 官・民が集う交流基盤拠点施設を整備すべきである。
3. 道の駅、緑の郷、旧櫻井家住宅、中粕川地区が重点地域となっているが、町全域を観光資源としてまちづくりを展開すべきである。
4. 古民家再生（旧櫻井家住宅）の活用は民間に任せている自治体もある。その取り組みを参考にしながら、本町の個性的な地域性を活かした活用を早急に示されたい。
5. 地域おこし協力隊は、移住定住に大きな力となり得ることから、隊員募集を積極的に取り組まされたい。

過疎債について

1. 国から過疎指定を4月に受けたが、これまで計画策定に時間がかかりすぎではないか。もっとスピード感を持って町の問題点や課題を洗い出し、各種計画との整合性をもって進めるべきである。
2. 過疎地脱却に向け、町民から意見をききながら今まで以上の行政サービスを提供し、環境整備のさらなる促進を図られたい。
3. 庁舎建設は、10年間の計画であるが、過疎債も視野に計画されたい。

次回は

「過疎対策」
を調査します。

♪♪ コールカッコー ♪♪



結成のきっかけは
昭和54年家庭教育学級でコーラスを指導。卒業後もコーラスを続けたいとの希望でママさんコーラス教室を開設。その後、コールカッコーとなる。
結成して43年。現在メンバーは17名。

代表 千葉いみ子さん
(中村)



指導者 鎌田光彦先生
(羽生)

- 今後の目標**
- ・45周年記念コンサートをを行うこと。
 - ・県庁でのロビーコンサートで演奏すること。
 - ・コーラスを通し互いに信じ合い助け合う人間関係の中から生涯につながる仲間づくりをすること。



一緒にいかがですか！



コーラスの魅力は
心と体の健康づくりになり、ひいては、明るい家庭づくりになる。
大切にしていることは、楽しく歌うことを大事にしています。
町に対して
将来公民館を建設する際は、道の駅付近の交通の便がいい場所で、エレベーターを設置してほしい。
メンバーから
長く続けられたのは先生方の熱心な指導、諸先輩たちが歌いつないでくださったおかげと感謝しております。
月2回の練習で大きい声を出して、元気で楽しく歌い続けていきたい。



9/27・28 広報広聴常任委員会 視察研修

岩手県岩泉町議会 岩手県紫波町議会

令和3年度全国町村議会広報コンクールにて最優秀賞受賞された岩泉町議会、同広報コンクールで最優秀賞受賞している紫波町議会で視察研修を行った。

この研修を通じて、今後の紙面づくりに活かしてまいりたい。

広報広聴常任委員会

委員長	佐藤 吉	牧 耕大
副委員長	吉田 垣	藤 正文
委員	石熱 和	義直 義寛
委員	賀生 若	

編集後記
「感動をありがとう」
深紅の優勝旗を東北勢初白河の関を越した仙台育英高校野球部の皆さん、優勝おめでとうございます。
オミクロン株BA5のコロナ感染が高止まりしています。国の全数把握を取りやめたため、無症状の方の感染が分からなくなり、感染の拡大が懸念されますので、町民の皆さんは基本的な感染対策を続けていきましょう。
東日本台風で被災された町民の皆さんはまだまだ不自由な生活を送っていると思います。復興は日に日に進んでいますので、もう少し頑張ってください。
最後に町民の皆さんのご多幸をお祈りしています。
熱海 文義